

第3回検討委員会グループワーク意見のまとめ

【多様性を尊重し合う共生社会づくりを推進するための取組】

A グループ

◆子ども ◆高齢者 ◆障害者

◆子ども

- ・学校以外にいじめの相談ができる窓口をつくる
- ・子どもの発想・意見に関心を寄せ、反映させる。

◆高齢者

- ・地域の高齢者が地域の子どもをみるシステムを作る
- ・幼稚園や小学校のイベントに高齢者に参加してもらう
- ・高齢の方が小学校等で自身の人生について語る
- ・高齢者の困りごとの相談窓口を作る
- ・世代間交流事業の推進・充実

◆障害者

- ・多様性（人権）に視点を当てた町づくり（施策）
- ・社会へ出ていく（障害のある人）
- ・みんなでいっしょにやる（取組）
- ・社会に出る（社会参加）
- ・障害者と健常者の共同作業

◆全体

- ・古い社会の考え、しきたりからの脱却。教育の推進
- ・人権フェスティバル（仮）の取組。参加体制の工夫
- ・有名人を招いた交流の取組
- ・町政に「人権」を必ず入れて、目につくように、耳にするように取り組む
- ・いろいろな人が集まって（単に）話をする機会を作る
- ・人の繋がりが希薄

Bグループ

◆女性 ◆性的少数者 ◆国籍

◇イベント化

- ・多様性週間、キャンペーン週間を設ける (〇〇〇)
- ・アートフェスティバル (☆☆)
- ・与謝リンピック

◇意見交換

- ・こんなことで困ってまーす。と言える場づくり
- ・地域や国を超えたディスカッション (☆)
- ・マジョリティ、マイノリティを問い直す
- ・政策をみんなで考え作る
- ・首長会議をしてもらう
- ・ケーブル TV 討論会 (☆)
- ・与謝野町 SNS での意見交換 (〇)

◇情報発信

- ・人権俳句の選手権 (〇〇〇☆☆)
- ・行政からの発信を充実させる (☆)
- ・広報よさのにコーナーを創出 (◎〇〇〇☆)
- ・意見を匿名で全員出させる (グーグルフォームの活用など)
- ・みんなのトイレを「多様性トイレ」に名称変更する。
- ・魅力あるステキなスターを紹介 (☆☆☆)

◇ポイ活

- ・研修に行くと得点がある (～ポイントもらえとか) (◎◎〇)
- ・地域通貨×人権 (◎◎〇)
- ・研修協力企業制度 (ステッカー、公休になるとか) (〇〇)
- ・ふるさと納税

◇地域クラブ活動

- ・おせっかいクラブの創設 (〇〇〇〇☆)
- ・楽しめる行事を企画 (☆☆)
- ・気軽に誰にでもあいさつ (声掛け) 運動
- ・地域単位で集まる行事、取組を増やす
- ・よさの町の日
- ・みんなが使える、楽しめるデザイン